

## 丹沢：三峰山

- ◆日程 2019年3月9日(土)
- ◆メンバー L：小林よ、松田、大塚、山田る
- ◆天候 晴れ

本厚木バスセンターから路線バスに乗り、広沢寺温泉入口で下車。咲き残っている梅に早咲きの桜を見ながら春を感じて歩いていく。広沢寺の岩トレで何度か通った駐車場、さらにその先の車止めゲートを抜けると山神隧道というイヤ〜なトンネルがある。いつもドキドキしてしまう。

不動尻より沢に沿って鎖が張った狭い足場をトラバースが続く。通りすがりの女性に「どこに登ってきたの」と聞かれ「これから三峰山に登ります」と答えると不思議そうな顔をされた。ここは煤ヶ谷バス停に下山していくコースだからだ。

谷太郎林道終点に出る手前で境界尾根に取りつく。急登が続くが踏み跡がある予想外によしおさんは少しガッカリ気味のご様子。私たちにはありがたかった。

杉の木の落ちた枝が道をふさぎ、その多さに歩きにくくなると、尾根からそれていることに気がついた。四人で考え軌道修正、尾根に出ると次第に険しさが増していった。

両手を使った岩登り、痩せ尾根の灌木をよけながらザレ場を慎重に下る。そんなことを繰り返すと一般登山道に出た。急峻さは続き、鎖場やはしごを登っていくと狭い山頂に着いた。周りは木に囲まれているが、数日前の降雪で白くなった蛭ヶ岳の山頂が望めた。

昼食後、下山する。宝尾根という破線ですらないルートは、地形図と足元を見ながら「なんとなく」なところを下っていく。尾根の上部はナイフリッジとも呼ばれるらしく、痩せ尾根が続く。危険箇所ではロープを木に結んでそれを頼りに降りようとすると、すぐ近くに設置ロープが張ってあった。先人が整備してくれたことに感謝。急峻で入り組んだ下山は、どこがより安全か足元が分かりにくく、注意がより必要だと改めて感じた。

急な下りが終わると、日差しが差し込む広々とした尾根になる。そこからまた道が分かりにくくなり、私には適当にしか思えないところを、流石のよしおさんはコンパスとともに的確に下山へと導いてくださった。

谷太郎林道に出ると、皆の無事にホッと肩をなでおろし、握手を交わした。

帰りのバスの時間まで間があったので、道の駅清川に立ち寄ってみた。途中のキャンプ場には、有名なキャラクターを模した像が沢山あり笑わせてくれた。

三峰山は一般ルートでも鎖場やはしごが連続するなかなか大変な山であるが、今回のルートはスリリングで楽しく、また歩きたいと思った。それにはもう少し地図読みのスキルを上げないといけない。あ・・・！さらにはあのトンネルをまったくぐらならないといけない・・・。

(記：山田)

CT：広沢寺温泉入口 8:16 - 不動尻 9:30 - 大小屋沢右岸尾根取付 10:15 - 三峰山頂  
12:39/13:13 - 鳥屋待沢右岸尾根 - P777 14:24 - P512 14:58 - 谷太郎林道 15:55

